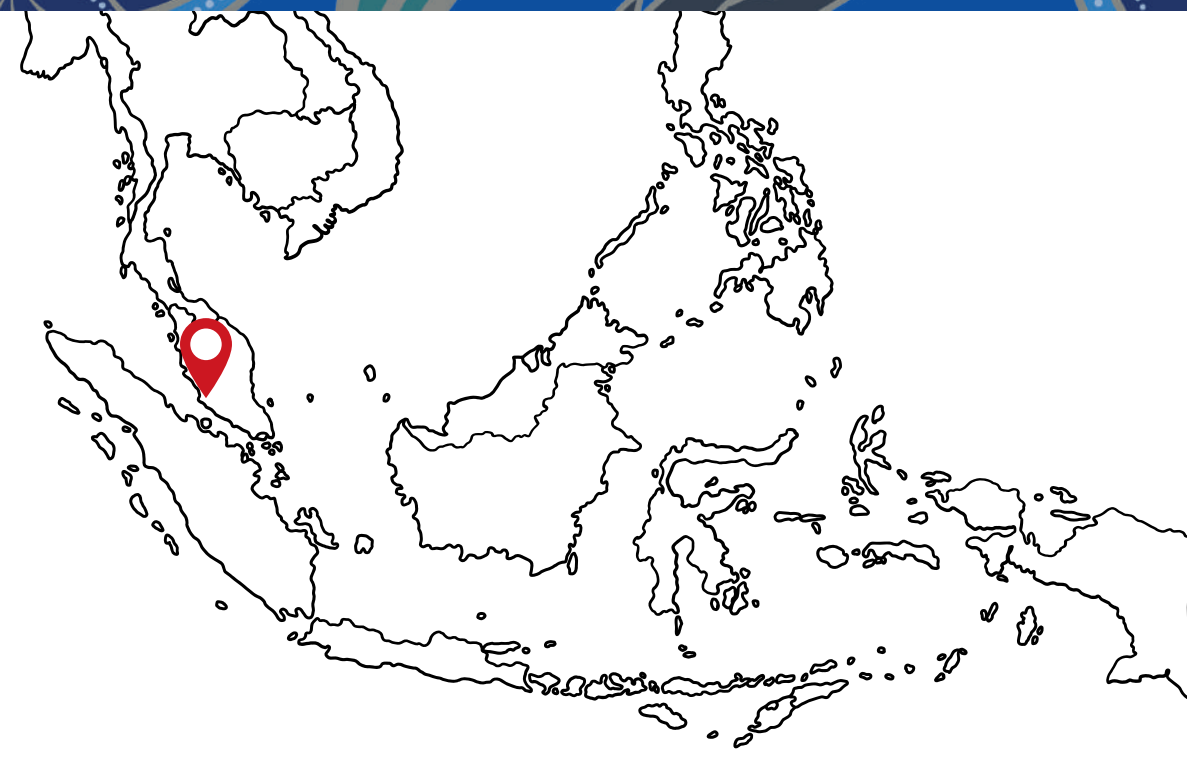




寝占泰志

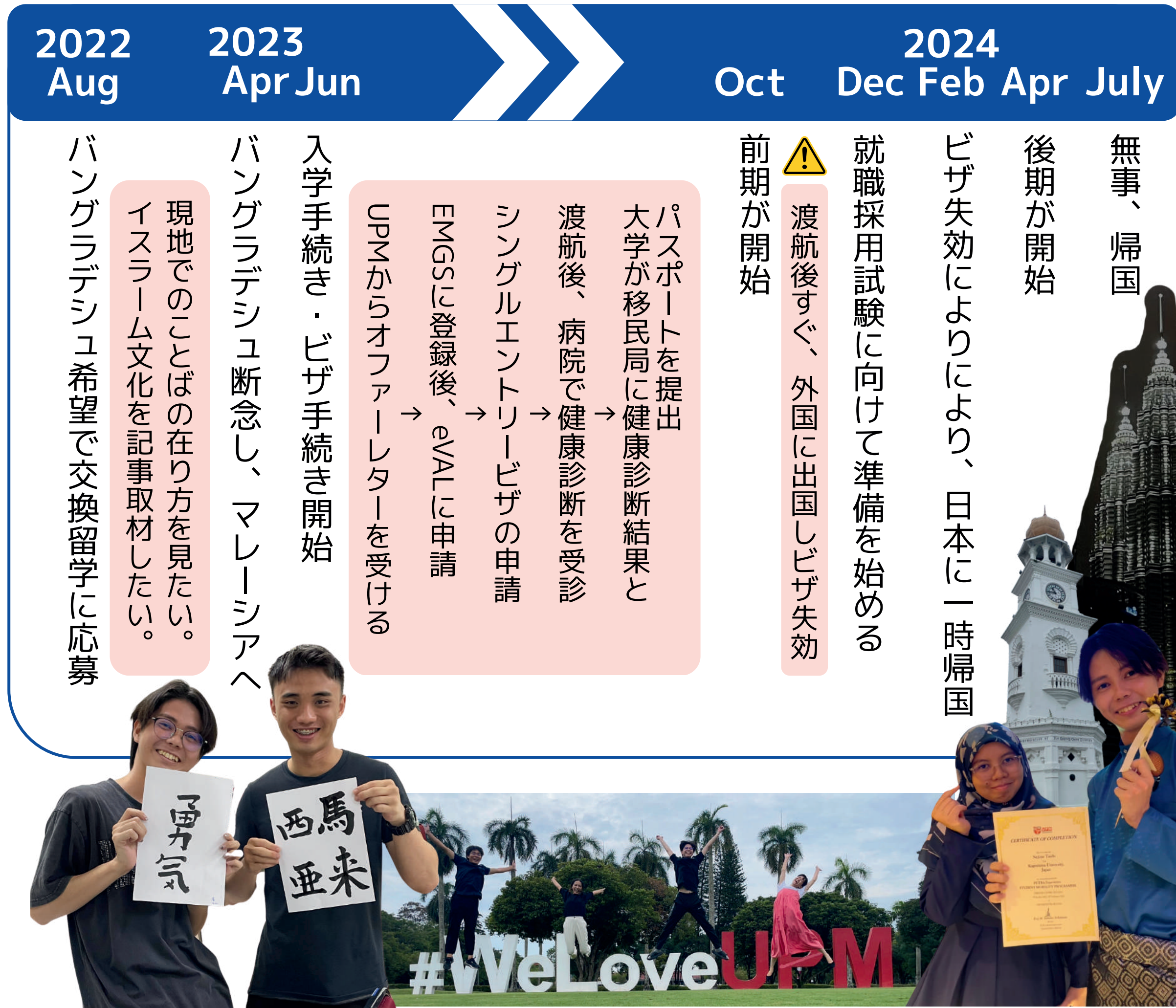
法文学部人文学科4年

ねじめ・たいし | 社会言語学やジャーナリズムを専攻。マレーシア・セランゴールの大学、UPMで2023年10月から2024年7月まで現代コミュニケーション学部で留学生活を送る。



留学期間中、何してた？

ネジメタイシのマレーシア留学生活をまるっと解説！



僕のBEST3 CLASSES

- ★Basic communication strategy
→献血活動に参加。グループでポスターを作り、街で声掛けをする。
- ★Editing process news publishing
→ジャーナリズムの授業。毎週、記事の取材へ。
- ★Qualitative Research Methods in Communication
→同じ専攻の現地大学生と卒論構想を練る。

留学のGood Memory

- ★マレーシアで書道を披露
→10年続けてきた特技の書道を日本語の授業で教えたり、式典でパフォーマンスしたり...
- ★入国間もなく学生ビザが無効に
→窓口と粘り強く交渉した。当時は落ち込んでばかりだったが、今では貴重な経験だと感じる。
- ★オンラインでの就職活動
→留学生活の中で苦しんだ困難の一つ。作文用紙を印刷するために一晩中、友達と奔走したことも。

最高の休日の過ごし方。

もし丸1日休みがあったら、クアラルンプールをどうエンジョイする？



Pasar Seni

🕒11:00

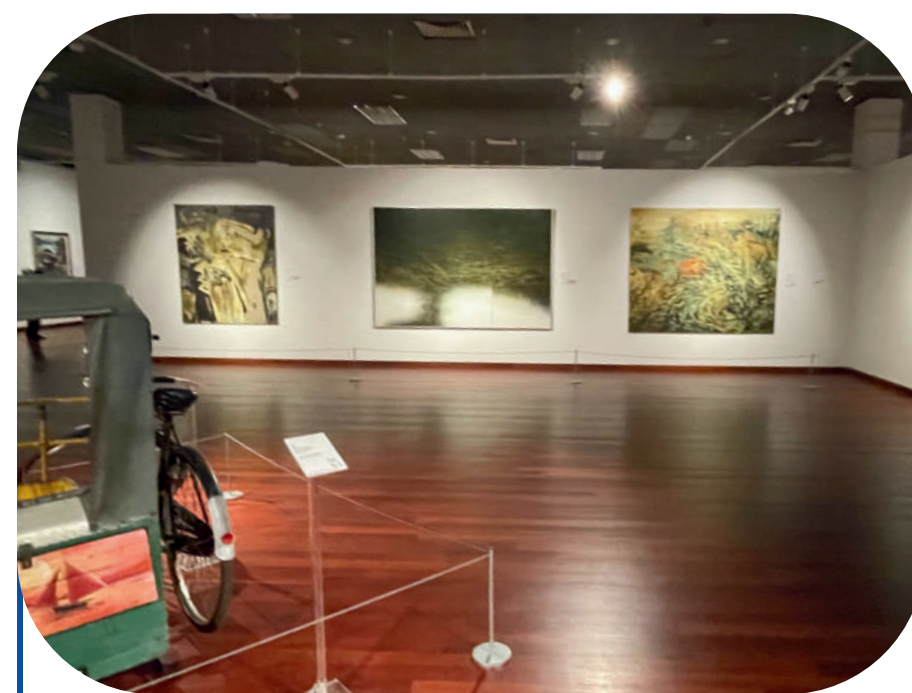
クアラルンプールにある中華街の一つ「パサー・セニ」。おしゃれなカフェやレストランが集まっていて、ランチにはここがおすすめ。街のいたるところでアーティストが残した壁画も見られる。夜は治安が悪いので、要注意。



Central Market

🕒13:00

1888年に建てられたセントラルマーケットはKL随一のお土産スポット。雑貨から食品品まで、マレー文化に染まりたいならここで買い物するしかない！僕は日本に帰国する際、ここでお土産の定番、ナマコ石鹸を爆買いしていました。



National Art Gallery

🕒15:00

入館料無料の国立美術館。19世紀から現代に至るまでのマレーシアの美術史を振り返ることができる。マレーシアのアートが気になったら、まずはここ！



Alor Street

🕒17:00

クアラルンプールの中心地、ブキッ・ビンタンからすぐ近くのアロー通り。ここでは毎日、夜市が開かれ、多くの屋台が軒を連ねる。ドリアンやディムサム。ローカルな食べ物を求め、多くの現地の人や観光客で賑わう。